

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	百貨店（営業担当）	・今月末から物産展の大型催事がある。11月後半からはギフトセンターのオープンに伴って、百貨店本来の来客数が非常に多くなる。それぞれ下の階へのシャワー効果が期待できる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・飲食関係は3月の書き入れ時、歓送迎会シーズンに当店でも四十数件のキャンセルがきて痛手を受けたが、これからは年末、新年会等で、いろいろと飲み食いする機会が多くなるため、良くなる。
		通信会社（営業担当）	・年末商戦が始まるため良くなる。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・年末に向かい、エアコン等、暖房器具に期待が持てる。また、エコ商品にも少しは期待できる。
		スーパー（店長）	・ちょうど年末年始の商戦に入るころだが、こういう年は必ず年末は売れる。
		コンビニ（経営者）	・クリスマス、年末商戦を控え、これらの需要の獲得がうまく成功すれば、若干の上乗せは可能という見通しである。
		コンビニ（店長）	・商圏内に同業店がオープンして3か月が経過したので、10月は良くなると予想していたが、近所の主要道路が全面工事に入ったため、お昼を中心に来客数がかなり影響を受け、悪い結果となった。3か月後は工事はないと思うので、黙っていても良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・12月に新型の軽自動車の発売予定がある。また、3月までのエコカー減税の駆け込み需要が始まる。
		都市型ホテル（営業担当）	・11～12月あたりの年末に掛けて、忘年会や会合の需要が伸びてくるため。例年同様にやや良くなる。
	変わらない	商店街（代表者）	・アパレル関係の業者は少々明るさが見えると言っているが、当地域では売上が良いという声が聞こえてこない。
		商店街（代表者）	・年末の贈答需要は例年より伸びることは考えられないが、何とか品ぞろえ等で前年並みに持っていきたい。
		商店街（代表者）	・今年は総体的に景気が悪いが、それでも例年並みには販売量も伸びているので、良くはならないと思うが、何とか変わらずにいく。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・観光地での紅葉を楽しむツアーなどでお金が落ちるため地元も潤ってくるが、それも控えめな状態が続いていることから、現状維持がやっとである。
		百貨店（営業担当）	・円高等、景気においては一進一退という状況で、まだ個人消費が盛り上がるという状況にはない。購買についても消費者の慎重さが見受けられる。
百貨店（販売促進担当）		・円高、株安などから、消費マインドが大幅に回復するとは思えず、特に高額品への影響が懸念される。ただし、ファッション関連は気温の低下と共に比較的好調に推移しており、期待ができる。	
百貨店（販売促進担当）		・売上の柱となっている婦人衣料がほぼ横ばいである。また、他の商品群も店全体の売上を押し上げるほどの勢いはなく、今後も同様の流れが続いていく。ただし、節電などを背景としたウォームビズなどの衣料施策が大きなトレンドとなれば、売上の上積みも期待できる。	
スーパー（統括）		・冬場の節電対策がどのレベルになるのか具体策を策定しているが、灯油ガソリンの高騰も予測されるため、生活物資へ影響が出るのが懸念される。	
コンビニ（経営者）		・来客数が増えた分、この先も今月同様に上向きでいく。	
コンビニ（経営者）		・客の単価が非常に低くなってきているが、来客数はそれほど減っていないので今後は幾らか良くなる。	
コンビニ（店長）		・ここ最近、ニュースなどでいろいろ経済的な情報は入ってくるが、身の回りに限って言うと大きく変動する理由がない。客の様子を見ると温度変化や天候に左右される状態が続いているが、特価品がなければ特別大きな変化はないので、あまり変わる様子はない。	
衣料品専門店（店長）	・記録的な円高による株価の下落や年金支給年齢の引上げ等の社会的な問題により、将来の不安感が高くなるにつれて財布のひもは固くなり、買物にお金を使ってくれない傾向が続く。		
家電量販店（営業担当）	・景気は全く良くなっていないが必要な物は動き、特に冬に向けて石油ストーブ等は人気がある。しかし、生産が追い付かない状況で売上が見込めない。		

乗用車販売店（従業員）	・これから需要期に入ってくるが、販売台数が前年と同じように回復し伸びるかは非常に厳しく、国内外の経済状況に左右される。
乗用車販売店（販売担当）	・今後2～3か月先で余程良い材料でもあればいいが、風評被害で周辺観光地の客の入りはまだ全盛期の6～7割と、とにかく冷え込んでいるため、年内は景気が悪い状態である。
乗用車販売店（営業担当）	・軽自動車、ハイブリッド車、エコカーに商談が偏りつつあるが、利益は相変わらず思うように上がらない。
乗用車販売店（販売担当）	・今月はたまたま売れたが、周りを見ても良いことが何もないので、今と景気は変わらない。
自動車備品販売店（経営者）	・身近な会社が倒産したり海外に移転したりといった雰囲気の中で、あまり前向きではない客が増えてきている。なかなかプラスになるのは難しい。
住関連専門店（仕入担当）	・住関連商材の動きが落ち着きつつあり、日用消耗品も必要以上に購入しない傾向にある。クリスマスや年末商材への支出も抑えられる傾向にあるため、プラス要因よりマイナス要因が上回っている。
一般レストラン（経営者）	・根付いてしまった消費しない風潮と、相当な薄利でないと思えない風潮は、そう簡単に改善されるとは考えられない。
都市型ホテル（経営者）	・底値安定が続いており、この状態が続くと今後に不安が残る。
旅行代理店（所長）	・これからオフシーズンの冬を迎え、これまでにない厳しさになりそうである。異常なほどの円高にもかかわらず、海外旅行の受注もそれほど伸びず、先行きの不安は拭えない。
旅行代理店（副支店長）	・年末年始の動きが鈍い。海外旅行も情勢不安や天災等で足踏みが続いている。国内旅行は間際予約が増えているため、先が読めない。修学旅行の期日変更のため厳しい予約状況にあり、今後は例年実施している旅行が難しい。
タクシー（経営者）	・昼も夜も動きが悪く、不況の状態は変わらない。
通信会社（総務担当）	・個人消費が慎重な状況は変わらない。
通信会社（局長）	・冬のボーナス、年末商戦等は消費刺激にはなるが、景気の変化につながる材料ではない。景気回復に期待したいところだが、良くなる材料、悪くなる材料、傾向共に見当たらない。
テーマパーク（職員）	・東日本大震災の影響が大きく残っているのか、前年を大きく下回る状況は変わらない。
遊園地（職員）	・東日本大震災から7か月が経過し、レジャー、サービス業界は徐々に回復傾向にあるが、持ち直しのテンポが緩やかになってきていることから、今後の景気はあまり変わらない。
ゴルフ場（業務担当）	・ここ2か月くらい前年比をなんとかクリアするような状況になっており、総体的に来客数が前年比プラスで売上は横ばいである。11月は前年を若干上回っているため、12月も取り込みは前年並みくらいは届くが、来客数は確保できても単価が伸び悩んでいる。平日の取り込みについては価格次第である。各競争相手も低価格でより良いサービスを行っているので、収益面においてははなかなか改善しない。
ゴルフ場（支配人）	・精密機械関係会社の来場が少なくなり、また、それに関連する中小子会社社員の来場も少なくなってきている。これから先、円高がますます来場にも影響する。
競輪場（職員）	・他競輪場の記念競輪の売上が、ほとんど同じくらいの金額で推移しているため、変わらない。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・平日が増えている状況の変化に対応できれば、当然売上は上がるし景気も回復する。しかし、それを行うためにはある程度の経費も必要になるため対応が難しく、バランスがポイントとなる。
美容室（経営者）	・七五三、成人式等の予約数を確保しようと販売促進物を出したが、まだ申込が少ない。これから七五三の予約が入ってくる予定ではあるが、景気が悪い時は間際に入ってくる。
その他サービス [清掃] (所長)	・給料等の増加は見込めず減少する一方であり、生活品等の購入は少なくならざるを得ないが、急激な変化は考えられない。
設計事務所（経営者）	・企業の設備投資にはまだ時間が掛かり、大型物件の依頼は少ない。
設計事務所（所長）	・もうこれ以上は落ち込めないところまで来ているので、変わらない。何かのきっかけがあり景気が良くなることを願っている。
設計事務所（所長）	・東日本大震災の復興関係の工事が活発な状況がしばらくは続くが、現状より良くなる可能性は今のところ考えられない。また、現状でも一部業者に限られている。

	設計事務所（所長）	・今まで低迷していたのでいきなり景気が良くなるとは考えられないが、少しずつ案件も増えてきているので今月のような状況を保つことができればいい。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・東日本大震災の復興は大分落ち着いてきているが、節約が定着してきたのか、本当に必要な物しか購入しないため、やや悪くなる。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・安価な家電商材は海外製造が多く、東日本大震災の時より商品の流通が懸念される。消費者は必要な物であれば高価であっても購入せざるを得ないが、買い控えも予想される。したがって、多少でも商品の動く年末に向かって厳しい状況になる。
	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・今の状況は未経験なので分からないが、良くなる要因は見当たらない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・当店では12月には福島産の自然乾燥干柿や茨城産の干芋の地方発送や各地方のリピーターからの注文が多かったが、今年は福島第一原子力発電所の事故で福島産の干柿が全く駄目で、茨城産の干芋も風評被害で動きがかなり鈍る。
	百貨店（総務担当）	・月々の来客数が減少しており、ここのところ平均90%以下の日が多い。今年3月末に有名メーカーのお菓子の取扱が無くなって7か月が過ぎたが、まだ毎日来客や電話の問い合わせがある。売上ナンバーワンだったお菓子のコーナーが無くなるということは、店の売上予測も読めないくらい厳しいものがあり、それに伴う来客数減により、他部門の売上も下がっている。こういった現状では、先行きも非常に厳しい部分がある。
	百貨店（営業担当）	・円高による工業品輸出産業の業績低迷や、自然災害による生産縮小の影響が、家計にも悪い影響をもたらす。
	スーパー（総務担当）	・回復してきている企業では残業等や所得が増えているとのことだが、復興資金捻出のための増税の話で全体では所得が減ることが懸念され、消費は減る。
	コンビニ（経営者）	・欧州の信用不安、円高、放射線等、各種の不安要因から、買い控え、節約ムードが高まる。災害、天災等も多く、生活に不安を感じる人も少なくない。
	高級レストラン（店長）	・東日本大震災以降、地域の集客力が極端に低下しており、昼休みの時間でさえ、通行人が少ない。
	一般レストラン（経営者）	・土地柄からこの先は県外客より地元客次第だが、このままではまだまだ期待できない。
	一般レストラン（経営者）	・同業者の話では、同じように夜の来客数が非常に少ない状態が続いているとのことである。売上が非常に伸び悩み、減少していく傾向が強い。
	スナック（経営者）	・これ以上落ちようがないが、良くなっていくともとても思えない。現状維持か、軽く落ち込んでいく。
	観光型ホテル（営業担当）	・婚礼の予約が減少している。忘年会、新年会の予約はほぼ前年並みの件数だが、単価が下がり、また、大口から小グループ化の傾向である。
	都市型ホテル（支配人）	・風評被害がまだまだ収まらない。茨城空港利用の連休中の国際線は再開にめどが付いていないため、2～3か月後は観光客がまだ戻ってこない。
通信会社（販売担当）	・長期化している円高とタイの洪水により製造業が低迷しており、消費に対し消極的だと感じているため、やや悪くなる。	
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・ホテルの予約状況、サービス券の購入、各テナントのサービス券の利用状況を見ても、横ばいか下降である。各店舗の売上も悪くなっており、それに伴い駐車場の利用も少なくなる。	
住宅販売会社（従業員）	・復興増税に関する議論などが具体化しつつあり、消費意欲の低下が予想されるため、やや悪くなる。	
住宅販売会社（経営者）	・円高など不安要因が多く、地元では自動車関連の2次下請が多いため、このまま円高水準が続くと、コストダウンや生産調整などいろいろな状況の変化が出てくる。悪い要因が多いことが不安である。	
住宅販売会社（従業員）	・良いニュースと比較して悪いニュースが多く、原材料の不足による生産調整や金融不安が景気の高揚を抑制する。	
悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・当地域では福島第一原子力発電所の問題で放射線量が結構高い数値になっていることも上手くいかない要因の一つであり、早めに回復するような状況は生まれていない。

		衣料品専門店（販売担当）	・現在の客の動き、来客数が激減している状況を見ると、今後、何か良い要素があるとすれば年末商戦くらいである。しかし、年末に向かっても具体的な明るい兆しが見えず、期待するものは何もない。客に来てもらう工夫を積み重ねていくが、残念ながら悪くなる一方である。	
		家電量販店（店長）	・生産拠点であるタイの洪水被害で、既にデジタルカメラなどの入荷が遅れている。	
		スナック（経営者）	・長いことやっているが、ますます冷えていく気がする。本当に良くなる要素が全然見付からない。	
企業 動向 関連	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・家電エコポイント制度が終了したが、他の商品の仕掛けは各地で予算待ちである。	
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・需要、供給とも八方ふさがりの状況ではあるが、多少、季節的に動きが出る。	
	やや良くなる	金属製品製造業（経営者）	・復興事業も徐々に本格化してきており、大型の自家発電装置や特装車両の受注が増えてきているため、やや良くなる。	
		金属製品製造業（経営者）	・取引先からいろいろと仕事の話があり、これからも多くなる様子であり、期待している。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・いろいろな所で災害があるので、復興により上がっていく。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の下期生産計画から、来月中旬以降に当社受注が上昇するため、やや良くなる。	
		金融業（役員）	・自動車部品の製造を中心とした各種製造業において受注の増加が継続されており、今後もその好調さが期待されている。	
		広告代理店（営業担当）	・今の活況が年末商戦までつながれば、東日本大震災以降の大きな回復となる。	
		変わらない	食料品製造業（営業統括）	・ドルに対して急激にユーロ高が進んでいる影響で、ヨーロッパばかりでなく、アメリカ、オーストラリアからの安価なワインが出回っており、今後苦戦が強いられる。また、TPPの交渉の行方も気掛かりである。
			化学工業（経営者）	・年内の仕事量は確保できたが、来年1月からの受注がまるで入ってきていない。タイの洪水の影響が国内自動車産業に出て、それが当社にもかかわってくるのではないかと多いに心配している。
窯業・土石製品製造業（経営者）	・年末年始は毎年受注の谷間に当たるので、今期も懸念している。			
一般機械器具製造業（経営者）	・9月は一時的に仕事量が増加したが、タイの洪水等のマイナス要素が加わり、また8月以前の状態に戻りそうである。			
電気機械器具製造業（経営者）	・大きな変化はなく、しばらくは安定した生産になる。			
電気機械器具製造業（経営者）	・当社は自動車関連のため輸出の仕事を結構しているが、今のところ円高の影響は出ていない。今は大丈夫だが、これからどうなるかは分からず、現状くらいで推移する。			
電気機械器具製造業（営業担当）	・当社は現在ある程度の受注は確保しているが、円高の影響により、県内の各企業で収益が悪化しているとの情報が多く、この先の受注の減少が予想される。			
輸送用機械器具製造業（経営者）	・9月までは非常に良かったが、10月は取引先各社で一服といった感じで、半期決算が終わって仕事量が少し減ったが、これから徐々に増えてくる。			
輸送業（営業担当）	・例年だと年末年始に向かって景気も上向きになり、冬場商材等物量が増える状況になるが、このところタイの洪水や自動車メーカーなどの部品不安、円高の負担で先行き厳しい部分も出ており、全体的には例年並みである。			
通信業（経営者）	・これ以上悪くなりようがなく、最悪の状態は変わらない。			
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・税理士の話では、2か月前に訪れた製造業で好調と聞いた企業が、最近では落ち込んで先行きが見えないとのことである。短期間に変わる景気の変動で、設備投資の見極めも付かないと困惑している。		
	社会保険労務士	・東日本大震災後の持ち直しの動きと円高などの影響で、踊り場にいるような感じである。事業所の売上や人の動きなど、大きく変化するとは思わない。		
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合いは増加傾向にあるが、先行きの変化を見ていきたい。		
	やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・関東近辺でも、どんどん放射能が検出されてきている。ただでさえ風評被害で価格が上昇傾向なのに、農作物にまで影響が及んでくる可能性は否定できない。合わせて景気回復の兆しが見えないなかでデフレの改善はできないため、ますます物価が安くなる。	

	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・印刷業者間の価格競争が激化している。安値でないと仕事が取れないという状況が続く。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の東日本大震災の復旧業務については忙しい状況が続くと思うが、タイの洪水の影響がどのように出てくるか不透明である。また、油圧建設機械に関しては年明け減産を予定する取引先が出てきており、全体としてやや悪くなる。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主力取引先の自動車メーカーからの生産の3か月見通しでは、11月がピークで12月からやや下がる。また、タイの洪水によって部品供給が一部不足するとの情報が入ってきているため、1月以降は生産が大幅に減少してくる。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・売れ筋商品の平均単価が極端に下がってきているため、販売量が大きく増えない限り、売上維持が難しい。	
	金融業（経営企画担当）	・東日本大震災や円高等、直接的ではないが、材料の仕入や客の状況に多少影響がある。	
	金融業（調査担当）	・県内は製造業のウエイトが高く、海外の動向に左右される見通しである。海外の弱い動きやタイの洪水の影響が顕在化した場合には下振れの懸念がある。	
	不動産業（管理担当）	・現在は冷暖房をあまり使用しないため、空調関連の費用が少ないが、これから寒くなってくるとその費用が増えてくる。電気や燃料もじわじわ値上げしており、節電意識の浸透はあるものの、経費増の要因になってくる。	
	悪くなる	建設業（総務担当）	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っているが、東日本大震災の影響で工期延長を余儀なくされたため、現場代理人が不足し、新規物件に積極的に申し込めない状況が続く。
雇用 関連	良くなる	人材派遣会社（管理担当）	・引き続き自動車関連企業への派遣が増加する。
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・求人倍率が改善傾向にあり、求職者の傾向及び求人数から、やや良くなる。
		職業安定所（職員）	・風評被害により県外へ移転していた事業所が工場を再稼働したこと、高齢者の福祉施設が来年度開業することにより、それぞれ求人募集があり、今後求職者からの活発な動きが期待される。
変わらない		求人情報誌製作会社（経営者）	・例年では、これから冬場に向かってパート、アルバイトの求人は増加傾向になるが、円高の影響により、地元の大手製造業の正社員募集は極端に少ない。
		職業安定所（職員）	・短期的な求人が多くなってきたため、先行き不透明である。
		職業安定所（職員）	・求職者数が減少せず、人員整理による離職者が増大するようだと、雇用環境は厳しいままである。
		職業安定所（職員）	・円高等により先行き不透明という声をよく聞く。そのため、今後何らかの残業規制なり雇用調整の可能性も出てくると思うので、良くなるとも言えず、それほど変わらない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・求人をけん引する製造業において、海外展開に歯止めが掛からず、特に製造現場の技能者求人は厳しい状況が続く。
やや悪くなる		人材派遣会社（経営者）	・親会社が安定していないので、子会社はもっと安定しない。
		人材派遣会社（営業担当）	・円高がこれ以上続くと、国内での製造は無理に等しい。これではメーカーはどんどん海外に流出し、国内の雇用は失われる。
	悪くなる	○	○